

## 6 果 樹

### (1) 活動の重点指導事項

- ア 日本なしの黒星病対策による市場への安定供給、「加賀しずく」の生産拡大
- イ ぶどう「ルビーロマン」の生産拡大と商品化率の向上

### (2) 活動の経過と実績

ア 日本なし

(ア) 黒星病の防除対策

- a 本年は、生育初期から一部で発生が認められたものの、各種対策実践により黒星病の発生が少なかった。しかし、7月中旬以降の高温少雨の影響により小玉傾向だったほか、台風の影響により落果、スレ傷が発生し、共販出荷量は1,164t(H29)から891t(H30)に減少した。
- b 薬剤・耕種的防除の徹底を図った。特に落葉処理による伝染源の除去徹底を指導した。

(イ)「加賀しずく」の生産拡大

本年は高温少雨の影響により日焼け果が発生したほか、台風の影響により落下、スレ傷が発生したものの、糖度不足対策の実施により出荷量は2.4t(H29)から3.6t(H30)に増加した。本年は奥谷選果場で初めて集出荷を行ったが、今後出荷量の拡大に伴う体制整備が必要である。

苗木管理や適正着果を巡回指導するとともに、栽培講習会を開催し、品種特性、栽培法の解説に努めた。

イ ぶどう「ルビーロマン」

(ア) 樹勢、棚下明るさの重要性を啓発するとともに、着房数制限やコンパクトな房型を推進する「腹八分目運動」を徹底した。

(イ) 着色促進のための「環状はく皮処理」「スポットクーラー」などの新技術の実証と普及に努めた。また、熟練農業者のノウハウを「見える化」した学習支援システム(問題集)の活用やアプリを使った棚面の明るさ管理等により、若手生産者の技術向上を図った。

(ウ) 7月中旬以降の高温少雨の影響により小粒化、果粒軟化が多発したものの、着色促進により出荷房数、商品化率は5,010房、42%(H29)から5,518房、44%(H30)と増加した。

管内の果樹の生産販売状況

	産地名	栽培面積 (ha)	農家数 (戸)	生産量 (t)	単収 (kg/10a)	共販状況			
						農家数	出荷量 (t)	販売額 (千円)	
なし	加賀	65.5	56	1,200.0	1,832	48	891	273,265	
ぶどう	加賀	22.5	13	240.0	1,066	13	11.0	31,983	
	小松	5.8	6	58.0	1,000	5	1.0	5,839	
	ルビーロマン	加賀	1.3	13	4.2	—	13	4.2	25,329
		小松	0.6	6	1.0	—	5	1.0	5,839
いちじく	川北	0.9	9	6.2	690	8	3.2	2,289	
かき	川北	1.0	13	10.0	1000	9	6.9	1,148	
ゆず	能美	1.4	7	7.0	500	—	—	—	

※生産量は推定値を含む。平成31年3月現在(南加賀農林総合事務所調)



加賀しずくの摘果講習会  
(加賀市小塩辻梨団地)



若手生産者を中心としたなしの剪定講習会  
(加賀市奥谷梨団地)



学習支援システムを活用したルビーロマンの  
栽培講習会  
(加賀市豊町ぶどうほ場)



アプリを使ったルビーロマンの  
棚面の明るさ指導  
(小松市今江町ぶどうほ場)



甘柿の早生品種導入 (接ぎ木指導)  
(川北町かきほ場)



J A能美いちじく部会の出荷目合わせ会  
(川北町いちじく集荷場)